

校長室より

長野県稻荷山養護学校 R6.8.30



夏休みはいかがお過ごしでしたでしょうか？オリンピックも盛り上がりましたね！あきらめず力いっぱい取り組む選手の皆さんからエネルギーをいただきました。8月23日（分教室は22日）から2学期がスタートし、元気いっぱいな子どもたちの笑顔が学校に戻ってきました。2学期も安心・安全な学校で子どもたちが楽しく過ごせるよう、職員一同努めてまいります。

PTA お掃除大作戦 ありがとうございました！



7月24日一学期終業式の日、PTA主催のお掃除大作戦がありました。お忙しい中、多くの方にご参加いただき、普段なかなか手がまわらない窓の桟や、廊下の隅などを掃除していただきました。さすが保護者の皆様、手際よく、子どもたちが気づかない場所をきれいにしてくださいました。お掃除をしながら、保護者の方々同士でお話しされている姿が印象的でした。子どもたちの環境整備のためにご尽力いただき、校舎がとてもきれいになりました。本当にありがとうございました。

養体連バスケットボール大会がありました

夏休みの7月26日、塩尻市のユメックスアリーナで、長野県養護学校体育連盟主催のバスケットボール大会がありました。本校高等部には「いなりちゃんクラブ」という課外活動クラブがあり、そのメンバーの皆さんが参加しました。参加校は本校含めて11校。友達にパスをつないで、つないで、ゴール近くの選手がシュート。リバウンドをとって、またシュート。ディフェンスの時は、相手のパスをカットしたり、相手がはずしたシュートのリバウンドをとってまた友達にパスしたりと、協力し合って自分がやるべきことを精一杯プレイしている姿に感動しました。白熱した戦いが繰り広げられ、毎日放課後、練習を積み重ねてきた成果を存分に発揮できたと思います。選手の皆さん、お疲れ様でした。



全国肢体不自由特別支援学校PTA・校長会合同研究大会石川大会に参加しました



8月19日～20日に石川県で行われた全国肢体不自由特別支援学校PTA・校長会合同研究大会に、北島PTA会長さんと一緒に参加させていただきました。コロナ禍後のPTA活動については、本校もそうですが、持続可能なPTA活動になるよう、どの学校も「参加しやすい・負担にならない」活動を模索しています。PTA活動に何を求めるか保護者や教員のニーズを把握し必要な活動をしていくことが大切であること、防災やボランティア等地域の力も上手に借りること等を学びました。

全体研修は、能登半島地震の体験から学ぶものでした。在宅酸素療法が必要なAさんの場合、近くの公民館へ避難→酸素不足により基幹病院に入院→機能不全により市外の病院へ入院→現在は仮設住宅にいるそうです。それでも医療的ケア児支援センターのネットワークにいたことで支援がつながったそうです。震災を経験した家族の声の中に、「声をかけてもらって、荷物を持ってくれる人がいてくれたおかげで避難できた」という言葉がありました。「遠くの親戚より近くの他人」日常的なつながりの大切さを感じました。本校でも避難訓練や引き渡し訓練を行っていますが、保護者の皆さんのご意見も伺いながら更に防災対策を進めていきたいと思います。